2024 年度:こども園自己評価の報告書 栄町こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	・研究テーマを「人と豊かにかかわるために必要な遊び」とし、こども
	達が主体的にあそび、生活しようとする環境を考えてきた。
	・"アドバイザー派遣研修で学んだ "つながるあそび"をテーマとし
	「手あそび」「ふれあい遊び」「絵本」「つながりあそび」など毎月の会
	議の中でグループに分かれ、子どもの現状を共有しながら実践したこ
	とを出し合い、次の日からの保育実践に繋げていった。
	各クラスの公開保育の様子を撮影した映像を見返すことで、子どもの
	見方の視点や保育課題の共有に繋げていった。
健康支援	・感染症対策として状況に応じ、消毒は引き続き行っている。園児をは
	じめ保護者、職員の健康状態の把握を行った。
	・外遊びの時間を十分に確保し、身体を動かして遊ぶ経験を重視した。
	・毎月、『ほけんだより』を発行し、家庭でできる健康を維持するための
	取り組み等の情報を伝えていった。
	・手洗いやトイレの使い方、プライベートゾーン等の講話を実施し、園
	児一人一人が自分の体や健康を意識できるようにしていった。
	・毎月、安全点検を行い、危険な箇所は、その都度改善し、全体での確
	認も行った。
少人投送 在WX 选 TIII	・災害(地震・火災・水害・不審者)の避難訓練を毎月実施した。
安全指導・危機管理	水害の訓練の時には、炊き出しを行い、阪神淡路大震災及び東日本大
	震災や、能登半島沖の地震について、その時の新聞や写真を掲示し、
	保護者・子ども達に伝えていった。
	・季節の野菜を畑で収穫し、調理して食べたり、給食献立の一部を子ど
	も達がクッキングしたりすることで、食材や調理に関することに興味
食育の推進	を持ち、食べる意欲に繋げていった。
	・技能職員が各部屋に訪れ、食材に関すること、栄養に関すること等、
	年齢に応じて興味が持てる様に工夫して伝えていった。
	・送迎時や個人懇談、クラス懇談会を通して保護者の子育てで困ってい
	ることをキャッチして一緒に考えてきた。
	・保護者講演会を保育参加の日に設けたことで多くの保護者に参加して
	もらうことができた。
子育て支援(在園児および地域)	・地域の親子とクラスの交流は担当を決めて計画的に交流していった。
	その中で園の子ども達が積極的に交流に参加する姿がみられた。
	・マイ子育てひろばがスタートし、登録することで足を運びやすくなっ
	たという声が聞かれている。「カードがあることで来やすいです」とお
	母さん以外も参加してくれた。
インクルーシブ教育保育	・アドバイザー派遣研修で障害児共生保育をテーマに講師を招聘し、
	具体的な悩みに対しアドバイスをもらい、実践に繋げていった。
	・保護者が望まれている事、困っている事等を聞きながら、子どもの
	現状をふまえ、支援の方法等を保護者と共に確認していき、職員間

	で共有していった。
	・「共に育つ」の視点から、友達と関わる中で育った力やクラス集団が
	どう育ったかを会議やミーティングで整理していった。
職員の資質の向上	 ・職員ができるだけ研修に参加し、学んだことを他の職員に伝える場を会議で設け、互いに学び合えるようにした。 ・人権研修やアドバイザー研修で、同和問題や不適切保育などについて学び、職員がグループワークをする中で他の人の意見を聞くことで多様な考えがあることを感じたり、自分自身の振り返りや立ち止まって考えたりする機会をもった。 ・公開保育時にガイドラインを活用し人的、物的環境の確認を行うとともに、職員間の共通理解を深め、より具体的に教育保育を振り返り見ましばるよう。
幼保こ小中の連携・接続	直す機会とした。 ・就学する各小学校と連携を図り、園での様子を見にきてもらい、丁寧
	に引継ぎを行うことで小学校に繋げていく機会をもった。
	・校区連絡会の取り組みとして、5歳児クラスの担任が小学校のオープンスクールに参加し授業の様子を知ることができた。
	・5歳児クラスの子どもたちが、同じ小学校に行く友達と知り合えるように、近隣園で交流を行う。リレーやドッチボール等を通し、園内だけではできない経験ができ、お互いの刺激になった。
評議員会	・評議員会で、園の子どもたちの様子や園で行っている教育保育を実際 に見てもらい感想や意見をいただき、職員間でも共有していった。
その他	第2次公立こども園整備計画(民間移管)計画について保護者が安心できるよう説明会を持ち丁寧に対応していった。

○今後取り組むべき課題(重点的に取り組むべき課題)

課題	具体的な取り組み方法
保護者支援	保護者が子育ての悩みや、不安に思ったことを相談しやすい園をめざす。職員が相談相手として安心感を持ってもらえるよう、 送迎時のやり取りや懇談などで、保護者の思いを丁寧に聴いていくことを職員間で共有する。
教育保育の質の向上	アドバイザー研修、人権研修で職員の気づきや学びを深め、意見交流をしながら、自分たちの人権意識を高めていく。こども理解を深め環境設定や子どもが主体的に活動するための教育・保育の充実を図る。

令和7年 (2025年) 3月31日 豊中市立 栄町こども園 園長名 勝田 美智子